

鶴山七曲オープンカップ ローカルルール

JPA チャレンジリーグ競技規定に準ずる

以下ローカルルールを定める。

- ① テイクオフ順はランチオーダー制とする。
初日の優先順位はエントリー順とする。
2日目は初日の総合成績順とする。
- ② グライダーへのゼッケンはエントリー順で決定される。
縦 60 cm×横 30 cmのデジタル数字で目立つ色のテープでグライダー下面に貼ること
- ③ リフライト可否はその日の気象状況とタスク内容からタスクコミッティが決定する。
- ④ 携帯電話を必ず持つこと。
ランディング報告は大会本部に電話にて行うこと。
LD 報告は自分の LD 場所が明確に判明してから連絡したのでよい。
- ⑤ ペナルティについて
雲中飛行 0 スコアー
帰着申告忘れ 0 スコア
ゼッケン忘れ - 50 %
旋回義務違反 - 50 %
無線スイッチ入れ忘れ - 50 %
- ⑥ セーフティレベル
レベル 1 問題なし競技フライト可能。
レベル 2 場所によって強いコンディションだが、キャンセルする必要はない。
レベル 3 競技フライト続行には危険。
最終的にタスクのキャンセルを決定するのは大会主催者のコールによって行うので間違わないようにすること。
キャンセルとなった場合、速やかに安全な場所にランディングする。
- ⑦ トラブル
山チンした場合 デジタル無線 2Ch で安全にツリーランしていることを報告後、4ch に変更し、回収チームと連絡を取る。座標は UTM コーディネートで連絡する。

携帯電話は、ハーネスに座っていても手に届くポケットに収納しておくこと。使うことあり。

アクシデント地点上空にて **MarkEnter** を行い、**UTM** フォーマットで位置を知らせる。

(GPS で現在地を表示できない選手はブリーフィング後に教える)

クラッシュした選手を見た場合、その選手から何も連絡がない場合、可能であれば近くにランディングし助けに行くことも考えておく。(ボーナスポイントが考慮される)

⑧ フライト前にレスキューピンを確認しておくこと。

テイクオフ後ファーストサーマルで上げきった時に、グリップタッチを行う。

⑨ 飛行禁止空域

X50 川根温泉半径 **500m** 以内かつ **1200m** 以下飛行禁止

X51 静岡空港半径 **9Km** 以内は飛行禁止

X52 ラジコン場半径 **200m** 以内かつ **1200m** 以下は飛行禁止

大井川鉄道各駅及び線路上空 **250m** 以下は飛行禁止

高圧線、鉄塔は **200m** 以上の余裕をもって上空を通過すること。

⑩ グライダーのクラスハンデについて

オープンクラス総合成績は使用グライダークラスによって以下に決められたの係数を得られたポイントに掛けて計上する。

A: 100%

B: 90%

C: 80%

D: 70%

CCC: 50%